

2024年度活動概要

CCR研究会

本研究会は、「COLTによる授業分析の教育的示唆に関する研究」、「社会文化理論に基づく教室での学習者の言語使用に関する研究」、そして「COLTによる授業分析手法の項目更新」を主要な研究テーマとして掲げ、構成員の科研費に関連する研究およびその獲得に向けた研究を中心に活動を展開してきた。会議は原則としてオンライン会議システム Zoom を活用し、学会参加や授業撮影等の必要に応じて対面での打ち合わせも実施した。本研究会では、COLT (Communicative Orientation of Language Teaching observation scheme) を用いた授業分析とそのリフレクション方法の開発を目的とし、新規の授業収録を札幌市内および留萌市内の小学校・中学校・高等学校において実施した。これらの貴重な授業データを基に、COLTによる詳細な授業分析を行い、その結果に基づいた効果的なリフレクションの方法について議論を重ね、研究を深化させた。

社会文化理論に基づいた研究においては、オンライン上でのグループ活動における学習者の言語使用の特徴を明らかにするための実験準備を大学生を対象に進めた。また、開発したコミュニケーションタスク教材を用いた実験を実施し、その成果を大学紀要に投稿した。現在、JACET 支部大会等での研究発表や支部研究紀要への投稿を検討しており、研究成果の学術的な普及を目指している。

長年にわたり研究の中心としてきた COLT による授業分析手法について、近年の英語教育や第二言語習得理論の進展を踏まえ、コーディング項目の見直しに着手する準備を進めている。この見直しにより、COLT が現代の英語教育研究において、より精緻かつ有効な分析ツールとしての役割を果たすことが期待される。

来年度は、今年度の研究成果を踏まえ、授業分析の教育的示唆に関する研究をさらに深めていく予定である。加えて、構成員が新たに科研費を取得したことを契機に、これまでの社会文化理論に基づく研究に加え、COLT による授業分析とその結果を用いた授業者へのリフレクションと、他の多様な研究手法とを組み合わせた複合的な研究を推進していく。